

事業所名

02デイくれ

## 支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念		子どもたちとご家族が、のんびり楽しく過ごせる場所や時間を提供します								
支援方針		子どもたちが退屈せず楽しいと思えるように、子どもたちができることをいっぱい見つけてあげられるように、子どもたちやご家族・スタッフが居心地よくのんびりできる場を作ること を心掛け、支援します								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人 支援	健康・生活	子ども達一人ひとりの障害の特性及び発達過程・特性などに配慮し小さなサインから心身の異変に気付けるよう体制を整えます。 必要な医療ケアを、ご家族・関係機関と連携を取りながら適切・安全に実施する体制を整えます。 生活の中で様々な遊びを通して、楽しみながら生活学習ができる環境を整えます。								
	運動・感覚	感覚や認知の特性を踏まえ感覚の偏りに対する環境調整などの支援を行いながら、保有する五感を十分に活用できるように遊びなどを通して支援します。 訓練の専門職が他関係機関等と連携を取りながら個々の子どもたちに必要な訓練をアセスメント・計画・立案・実施します。 専門職による、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を行います。								
	認知・行動	個々の子供達の特性・年齢等を考慮しながら五感を十分活用し、型はめや積み木・ブロック・色分けBOX・仕分けBOX等を活用した療育を行い、認知過程の発達を促します。 個別活動・集団活動を行い環境の変化を感じ空間・時間等の認知機能の発達を促せるよう支援します。								
	言語 コミュニケーション	絵カード・タイムスケジュール板等を用い、言葉以外での意思表示やコミュニケーションが出来るように個々にあわせ支援を行います。 言葉やジェスチャーでの意志表出が困難な子どもたちの、表情や小さなサインも見逃さずサイン表出時の反応・対応をしっかりと行います。								
	人間関係 社会性	お集りの会等の集団活動の中で他児との交流の場面を設け、他者との関りや集団を意識できるように支援します。 一人遊びの時間・他児との遊びの時間・職員との遊びの時間を設ける事により、社会性や対人関係の芽生えができる支援を行います。								
家族支援		・ご家族との支援会議を行い、子どもの情報交換・共有、相談の場とします。 ・父母の会を行い、ご家族同士の交流・相談の場を提供できる支援を行います ・LINEや管理者直通携帯の共有によりいつでも相談・連絡が行える体制を整えます			移行支援		子どもの成長・状態を観察・評価・アセスメントを適時行い、必要時移行先の調整を行います。 地域の保育所や学校等との交流・連携を行います。			
地域支援・地域連携		・お祭りの開催時にお知らせの配布・声掛けを行い、地域の方にも参加頂く等により、地域との交流の機会を設けます。 ・地域の行事等に可能な限り参加し地域との連携関係を構築するよう努めます			職員の質の向上		・入職時の新人研修（当法人の理念・接遇・業務内容・ハラスメント等） ・内部研修（利用者の障害特性・緊急対応・感染対応・ハラスメント等） ・外部研修 ・他事業所での体験研修等			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月～外出レク（お花見）</li> <li>・ 6月～運動会（地域の体育館を借りて実施）</li> <li>・ 7月～親子参観、父母の会</li> <li>・ 8月～プール遊び</li> <li>・ 9月～外出レク</li> <li>・ 10月～ハロウィンパーティー（地域の方の参加啓発）</li> <li>・ 11月～父母の会</li> <li>・ 12月～クリスマス会、親子参観</li> <li>・ 1月～初詣（近隣の神社に外出）</li> <li>・ 2月～節分豆まき大会</li> <li>・ 3月～進級進学卒業のお祝い会</li> </ul>								